

く俳句く

冬景色

木々朗

高層の見ゆる限りの恵方かな
内庭に招じられけり冬薔薇
冬草の青に注目して居りぬ
佗助を信楽焼に活けにけり
湯に溶きて透明なるる葛湯かな

雑詠 大嘗宮一般参観

細田 安治

今生に 一目参観 雨なんの
延々と 坂下門から どこまでも
西の丸 無血開城 勝西郷
大嘗宮 歴史悠久 二千余年
神域と俗域 鳥居は 自然の樹
神殿の 上がり框は 樹皮残す



冬薔薇

出典：<https://search.yahoo.co.jp/>